

『毒物劇物取扱者試験 問題集 九州&中国編 令和4年版』お詫びと訂正のお知らせ

弊社出版物「毒物劇物取扱者試験 問題集 九州&中国編 令和4年版」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

本書の内容に誤りがございました。この度はご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

頁数等	内 容	
77 ページ ▶▶正解&解説【39】 〔解説〕	誤	－SO ₃ Hはスルホ基である。ケトン基は－CO。
	正	－SO ₃ Hはスルホ基である。ケトン基は－CO－。
192 ページ ▶▶正解&解説【26】 〔解説〕	誤	酢酸水溶液は弱酸＋弱塩基の組み合わせとなるため、生じる塩（酢酸ナトリウムCH ₃ COONa）は、塩基性となる。指示薬は、変色域が塩基性にあるフェノールフタレインを用いる。
	正	<p>酢酸（弱酸）と水酸化ナトリウム（強塩基）が中和反応をすると、正塩の酢酸ナトリウムが生じる。</p> $\text{CH}_3\text{COOH} + \text{NaOH} \longrightarrow \text{CH}_3\text{COONa} + \text{H}_2\text{O}$ <p>CH₃COONaは、水溶液中で次のように完全に電離する。</p> $\text{CH}_3\text{COONa} \longrightarrow \text{CH}_3\text{COO}^- + \text{Na}^+$ <p>強塩基NaOHを構成するNa⁺は完全に電離するためH₂Oとほとんど反応しないが、弱酸CH₃COOHを構成するCH₃COO⁻は電離度が小さく、一部は水の電離で生じたH⁺と結びついてCH₃COOHに戻る（塩の加水分解）。</p> $\text{CH}_3\text{COO}^- + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{CH}_3\text{COOH} + \text{OH}^-$ <p>加水分解により生じたOH⁻によってこの水溶液の液性は塩基性となる。従って指示薬は、変色域が塩基性にあるフェノールフタレインを用いる。</p>